

四国電力送配電 非常災害対策実働訓練に参加



6 月 11 日、高松市の四国電力総合研修所で、南海トラフ地震を想定した訓練を四国電力グループ会社と関係会社で行いました。

能登半島地震・今治山林火災で得た知見や教訓を踏まえた地震対策などを反映した実働訓練を実施しました。電気復旧までの手順を一連の流れで行い、各グループ会社の災害対応について、詳しく知ることができました。本訓練では、当社は模擬給油での作業をさせていただき、移動電源車にどのように給油作業するのかご理解いただきました。今後も、訓練を重ねながら、連携を強化し、迅速に災害対応ができるように取り組んで参ります。



災害無線、準備できていますか！？

大規模な震災や水害などが発生すると、輻輳（ふくそう）の連鎖による大規模通信障害などにより、職場はもちろん、家族や友人との連絡ができなくなることがあります。IP 無線機は、電話回線の状態に左右されないなど、災害時に有効な通信手段です。

IP 無線機は電話がつながる場所であれば、全国どこでも通話ができ、複数人での同時通話ができるほか、GPS 機能を駆使すると発信者の詳しい位置情報の確認を行えるため、被災地の状況確認にも役立ちます。

専門家に聞く

阪神淡路大震災の際、地震直後は通じていた電話も輻輳により使えなくなりました。今はスマホなどが普及して状況が変わっているとはいえ、先日、万博会場でブルーインパルスの飛行を見た際も、あまりの混雑でネット接続がうまくできなくなりました。災害時にも頼ることのできる通信手段の確保は重要です。リアルタイムでの多人数の通話、あとからでも確認できる伝言板など、用途に応じて適切な手段を事前に準備しておくことが有効だと考えられます。

（関西大学社会安全学部 教授 一井 康二）



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

当通信の文章・画像・図表等の無断転載・複製を禁止します

お問合せはこちら

